

入学準備金の受給申請について

来春、大和郡山市立の小学校・中学校に入学する子どものいるご家庭で、保護者より申請があり、所得の基準を満たす人について、就学援助の入学準備金を3月中に支給します。希望する人は、下記へ申請してください。
※小学校に入学する人は、就学時健康診断の通知に同封の案内をご覧ください。

※生活保護を受給している人、転出予定の人で大和郡山市立の学校へ入学しない人、私立学校へ行く人などは申請できません。

※申請書は、学校教育課窓口もしくは、ホームページから取得できます。

申請・問合せ＝11月1日(月)～令和4年1月14日(金)までに、通帳など口座を確認できるもの・印かんを持って、学校教育課(403番窓口・内線724・727)へ

ぴよぴよ絵本ひろば (参加無料・要予約)

子どもと一緒に絵本の世界を楽しみませんか。絵本を選んで自由に見てもらえます。また、保育士による絵本の読み聞かせや手遊び、室内遊具(滑り台・ソフトブロック等)もあります。ほっこりとした時間を絵本と共に過ごしてみてください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場組数を制限し、予約制とさせていただきます。

日時＝11月25日(木) 10時～11時30分

場所＝矢田コミュニティ会館

対象＝市内在住の乳幼児(0～3歳くらい)とその保護者、8組

予約・問合せ＝11月15日(月)から、土・日曜と祝日を除く9時～17時に、子育て支援課(内線526)へ

大和郡山市不登校等親の会 「マザーリーフ」フォーラム開催

本年度の「マザーリーフ」フォーラムは、ピアニストのKatsuさんによる「朝起きられなかった私の現在」というタイトルで、講演・ピアノ演奏・参加者のみなさんとの意見交換会・相談会を開催します。

日時＝11月13日(土) 12時30分受付 13時開演

場所＝三の丸会館 3階小ホール

対象＝不登校、行き渋り、引きこもりの子どもを持つ保護者・教職員・不登校、引きこもり本人等

定員＝100人(申込先着順) **費用**＝500円

申込・問合せ＝11月1日(月)19時から、名前・連絡先を記載して、メールでマザーリーフ
([✉motherleaf2015@gmail.com](mailto:motherleaf2015@gmail.com))へ

きんとつと広場 (参加無料・要予約)

家の人と一緒にコーナーあそび(絵本・手作り玩具・運動遊び等)やふれあい遊びなど楽しみましょう。保育士・保健師が子育てのお手伝いをします。

育児相談・身体計測もあります。初めての人もぜひお越しください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場組数を制限し、予約制とさせていただきます。

日時＝11月29日(月) 10時～11時(受付9時50分～)

場所＝郡山保育園

対象＝市内在住の0～5歳児とその保護者、5組

予約・問合せ＝11月15日(月)から9時30分～16時に郡山保育園([☎52-4069](tel:52-4069))へ

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になる場合がありますので、最新の情報は市公式ホームページをご確認ください。

11月は児童虐待防止推進月間

- 『児童虐待かも?』『ちょっとおかしいな?』と思ったら『通告する』が国民の義務です。
- 自分が『虐待している?』『どうしたらいいの?』と思ったら『相談』してみましょう。手遅れになる前に迷わず相談・通告を!
- ➔児童相談所全国共通ダイヤル ☎189(いちばやく)
- ※匿名でもかまいません。通告者の秘密は守られます。(児童虐待防止法・児童福祉法)
- 『子どもの命に関わるかも!』



「今、目の前で暴力が行われている!」「子どもがひどいケガをしている」「異常な怒鳴り声、物音、激しい泣き声が聞こえる」「夜遅く幼児が一人で外にいる」

➔こんなときはすぐ警察へ ☎110

◆児童虐待とは、親や保護者によってなされる子どもの心身を傷つけ、健全な成長発達を損なう行為です。たとえ親が子どものことを思っていた行為「しつけ」であっても、子どもにとって有害ならば「虐待」になります。

虐待の4つの分類

○身体的虐待 ○ネグレクト ○心理的虐待 ○性的虐待

【児童虐待を防ぐには】

子育て中の悩みや不安

あなたの気持ちをわかってくれる人たちがいます。

◆子育て支援課 子育て支援係 ([☎53-1151](tel:53-1151)・内線526)

◆奈良県中央こども家庭相談センター

([☎0742-26-3788](tel:0742-26-3788)・24時間対応ダイヤル)

【オレンジリボン運動】

児童虐待防止の象徴としてオレンジリボンを広める市民運動です。栃木県で幼い2人の幼児が、同居する男に川に投げ込まれ死亡するという痛ましい事件が起こりました。このような事件が二度と起こらないようにと願いを込めて、オレンジリボンが出来ました。

オレンジ色のリボンは、虐待をなくそう・子育てを見守り、お手伝いする意志のあることを示すマークです。

